

○議長（長澤健君）

それでは、通告1番、12番 鮫田洋平君の一般質問を行います。

12番 鮫田洋平君。

○12番議員（鮫田洋平君）

あらためまして、おはようございます。この度の町長逮捕、辞職に対して大変遺憾であり、残念な気持ちでいっぱいです。しかし、我々は立ち止まるわけにはいきません。町の発展と信頼回復に向けて全力で取り組みたいと思います。

それでは、通告に従いまして一般質問をはじめます。今回は大きく4点について質問させていただきます。項目も多いので簡潔に解りやすい答弁をお願いいたします。それでは質問事項1、公共施設運用、整備について、5項目質問させていただきます。

(1) 塩の華は歴史文化施設として整備される予定となっております。児童、生徒は、富士川舟運など何年かに亘りグループで資料を調べたり、散策をして学習し、授業参観などで発表しています。富士川舟運だけでなく、富士川町にはいろいろな歴史があり著名人も多くおります。資料館には多くの資料を置きいろいろなことが学習できるよう整備することと思いますが、児童、生徒が学習できる場として、広い学習室など、グループ学習などができる場を整備する計画はあるか伺います。

○議長（長澤健君）

生涯学習課長 依田正紀君。

○生涯学習課長（依田正紀君）

グループ学習などできる場を整備する計画があるかという質問にお答えします。現在、舟運資料を中心とした歴史資料館と、望月百合子氏などの本町にゆかりのある人物を紹介する人物館を塩の華に整備し、当町の歴史と文化の情報拠点となる歴史文化施設の整備を進めております。当該施設については、資料館検討委員会と人物館検討委員会を立ち上げ、企画設計業者と協議をする中で、展示内容について検討しているところであります。県内の小中学生の総合的な学習にも参考となる展示を目指し、2階部分にはグループ学習や地域住民の交流スペース、企画展などさまざまな用途に使用できる汎用性の高い企画展示室を設ける予定でございます。以上です。

○議長（長澤健君）

鮫田洋平君。

○12番議員（鮫田洋平君）

グループ学習などができる広い交流スペースの計画があるということで理解しました。

再質問です。答弁の中に、多目的な用途に使用できるスペースが設けられ企

画展なども可能ということですが、今現在どのような企画展を考えているか伺います。

○議長（長澤健君）

生涯学習課長 依田正紀君。

○生涯学習課長（依田正紀君）

お答えします。人物館では町にゆかりのある30人の人物を紹介する予定でございます。30人の中には、常設で展示できないほどの資料がある人物もおります。そのような人物の企画展や、資料館で常設展示できない舟運資料や写真を集めた企画展示等を考えているところであります。以上です。

○議長（長澤健君）

鮫田洋平君。

○12番議員（鮫田洋平君）

実用性のある施設となるよう期待しています。

それでは次の質問に移ります。（2）大柳川溪流公園にはキャンプ場がありますが、現在、管理が曖昧になっています。ゆるキャンからはじまり、ソロキャンプ、家族やグループでのキャンプブームもあり、多くの利用者が自由に使っているため、しっかりとした管理運営が必要と考えます。管理運営の意思のある事業者も何件かあるようです。今後、五開地区や十谷地区の意向や連携もあると思いますが、指定管理や外部の運営業者に委託する考えはあるか伺います。

○議長（長澤健君）

土木整備課長 河原恵一君。

○土木整備課長（河原恵一君）

ただいまのご質問にお答えいたします。大柳川溪谷の自然豊かな中に位置する大柳川溪流公園は、近年のキャンプブームもあり、1年を通して県内外から多くの方々に利用されている施設であります。このキャンプ場は予約不要の無料施設であり、管理人もいないため、自由にいつでも使用できる状況であることから、施設の管理運営を適切に行うことは必要であると考えております。

現在、外部から「施設の管理を行いたい」との問い合わせも何件かあることから、町では、施設の有効活用、適切な維持管理が行えるよう、指定管理による管理運営ができるかどうか検討して参りたいと考えております。

○議長（長澤健君）

鮫田洋平君。

○12番議員（鮫田洋平君）

大柳川溪谷は富士川町が誇る自然の財産のひとつです。多くの方が気持ちよく散策できたり、気持ちよくキャンプ場を利用していただけるよう前向きに検

討していただきたいと思います。

それでは次の質問に移ります。(3) 桜回廊は数年にわたり、道の整備や植樹など、時間をかけ全線の工事が完了しました。現在は、春には桜が咲き、大法師公園と殿原スポーツ公園を結ぶ観光スポットとなり、多くの来客が期待されております。せっかく回廊として整備したのであれば、四季を通しての活用が望ましいと考えます。そこで、桜の時期だけでなく年間を通した活用を望みますが、今後の活用計画を伺います。

○議長（長澤健君）

産業振興課長 遠藤悦美さん。

○産業振興課長（遠藤悦美さん）

ただいまの桜回廊の年間を通した活用計画についてのご質問にお答えいたします。桜回廊は、桜の名所であります大法師公園と殿原スポーツ公園を結ぶ回廊として整備し、定期的に回廊沿いの草刈りを行い、維持管理を行っております。これまで、散歩やジョギングなどのコースとしても周知してきたところであり、現在、見直し中のトレッキングマップには桜回廊を追加し、商店街などを周遊できるルートを設定し、マップの作成を進めているところであります。

今後は、マップを通じて、町民はもちろん、県内外からの観光客にも親しんでもらい、桜の時期だけではなく、多くの方が訪れる場として活用していきたいと考えております。

○議長（長澤健君）

鮫田洋平君。

○12番議員（鮫田洋平君）

再質問です。見直し中のトレッキングマップに桜回廊を追加し、マップの作成を進めているということですが、マップの完成予定を伺います。

○議長（長澤健君）

産業振興課長 遠藤悦美さん。

○産業振興課長（遠藤悦美さん）

お答えいたします。現在見直し中のトレッキングマップの完成につきましては、来年の3月を見込んでおります。

○議長（長澤健君）

鮫田洋平君。

○12番議員（鮫田洋平君）

観光資源の一つとして、多くの町民や来町者に楽しんでいただけるよう、計画的に進めていただきたいと思います。

それでは次の質問に移ります。(4) ふるさと自然塾は平林伊奈ヶ湖線の道路整備も終わり、大型バスでの往来が可能となりました。平林地区の活性化の

ためにも多くの方に利用してもらいたいと考えます。それには、みさき耕舎や体験型宿泊施設との連携も必要だと思います。それぞれ用途は違い、一体的な運営は難しいとは思いますが、各施設と連携して運営できれば活性化につながると考えます。専門的な運営が必要にはなるとは思いますが、平林地区の各施設を利活用していくために、指定管理など導入する考えがあるか伺います。

○議長（長澤健君）

産業振興課長 遠藤悦美さん。

○産業振興課長（遠藤悦美さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。増穂ふるさと自然塾は、平林地区の集落及び周辺一帯を「学習ゾーン」「体験ゾーン」「観察ゾーン」として設定しております。みさき耕舎は、体験ゾーンに位置付けられております。また、明年度には農業体験宿泊交流施設も完成することから、それぞれの施設を結び付けた新たなプログラムの開発などが考えられるところです。

しかし、現在、増穂ふるさと自然塾は、会計年度任用職員3名で運営をしており、十分な運営体制とは言えない状況であります。

こうしたことから、専門的な知識をもった運営ができる指定管理などの導入も視野に入れ、今後の運営について研究して参りたいと考えております。

○議長（長澤健君）

鮫田洋平君。

○12番議員（鮫田洋平君）

平林地区のさらなる活性化につながるよう前向きに検討していただき、施設の有効活用を願います。

それでは次の質問に移ります。（5）山梨県では、政府が掲げた2050年に、温室効果ガスの排出量を実質的にゼロにする「カーボンニュートラル」の目標を受け、25年までにすべての県有施設で照明の原則100%LED化の方針を発表しました。町ではゼロカーボンの新庁舎を設計し、国の「ZEB認証」をいただき建設が進んでいるところであります。他の町の施設でも、順次LED化が進んでおりますが、まだまだ100%とはいきません。町有施設のLED化について、平成25年6月議会で質問し、計画的に変更していくと答弁をいただいております。今後の整備計画について伺います。

○議長（長澤健君）

管財課長 渡辺成昭君。

○管財課長（渡辺成昭君）

ただいまのご質問にお答えいたします。平成25年6月議会での答弁といたしましては、「LED電球の入れ替えに伴い、設備改修が必要でない比較的新しい施設につきましては、計画的に切り替えを進めていきたい」とお答えした

ところであります。これを受け、直管の蛍光灯形LEDのサンプルを手配し、本庁舎事務室内で試験的に使用したところでありますが、明るさ的には問題がないものの、器具等の寿命、電気料金の削減効果、および蛍光灯形LEDの費用など検討した結果、器具ごと取替えをしないと効果がないと判断したため、故障した器具から順次取替えを行っているところであります。

今後、新庁舎が完成すれば本庁舎はLED照明となりますが、その他の施設につきましては、公共施設再配置計画や公共施設等総合管理計画に基づき予算の平準化を図る中で計画して参りたいと考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

鮫田洋平君。

○12番議員（鮫田洋平君）

交換できることから計画的にお願いいたします。

再質問です。増穂小学校の校庭は毎年4月から10月までソフトボールのナイターリーグが行われています。旧町時代からソフトボールが盛んで、全盛期には約80チームの登録があったそうです。現在では40チーム程になっておりますが、まだまだ盛んに行われております。多くのプレーヤーから、照明が暗くてボールが見えづらく危ないとの声を聞いております。夜間照明の交換となると多額な費用が掛かると思いますが、優先的に交換する考えがあるか伺います。

○議長（長澤健君）

生涯学習課長 依田正紀君。

○生涯学習課長（依田正紀君）

お答えします。社会体育施設のLED化については、これまで、平成30年度に殿原スポーツ公園ソフトボール場を、令和2年度に利根川公園テニスコート場を、独立行政法人スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ助成金を活用して整備を行って参りました。

今後も、このスポーツ振興助成金を活用しながら、利用頻度の高い順にLED化の整備を行って参りたいと考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

鮫田洋平君。

○12番議員（鮫田洋平君）

水銀灯は2020年に生産が終了したと聞いておりますので、有利な助成金の制度、スポーツ振興くじ助成金、いわゆるtotoの助成金を活用しながら、利用頻度を調査していただき、計画的に整備していただきたいと思っております。

再質問です。夜間照明以外の学校施設や保育所施設の改修計画を伺います。

○議長（長澤健君）

管財課長 渡辺成昭君。

○管財課長（渡辺成昭君）

ただいまの質問にお答えいたします。その他の施設を含めまして、学校、保育所施設は、施設更新計画、長寿命化計画に基づきまして計画を立てることになると思いますが、いずれにいたしましても、改修計画につきましても、新町長が1月16日に決まり、就任されますので、その後、意見を聞く中で計画することになると考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

鮫田洋平君。

○12番議員（鮫田洋平君）

計画的に進めていただきたいと思います。それでは質問事項2、体育施設についての質問に移ります。（1）利根川沿いは増穂町時代にスポーツエリアとして整備され、体育館、グラウンド、ゲートボール場は町民の生涯スポーツの場として、使用頻度も多く、愛されていました。現在リニア中央新幹線のルートとなり、体育館は解体され、グラウンド、ゲートボール場は利用できない状況であります。工事終了後、グラウンドは2/3程度、ゲートボール場は全面残る予定と聞いておりますが、工事終了後の施設利用について伺います。

○議長（長澤健君）

生涯学習課長 依田正紀君。

○生涯学習課長（依田正紀君）

お答えします。利根川公園は、リニア中央新幹線のルート上となったことから、令和元年9月に町民体育館を解体し、グラウンドの一部を含め、橋脚工事を進めているところであります。

また、グラウンドとゲートボール場は、資材や残土の置き場として使用しているため、現在は使用できない状況となっております。

JR東海はリニア中央新幹線の東京品川・名古屋間の開業予定を令和9年としておりますので、工事終了後のグラウンド等の利用につきましては、今後、土木整備課および都市整備課と協議し、検討して参りたいと考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

鮫田洋平君。

○12番議員（鮫田洋平君）

令和9年ということですので、まだまだ時間があると思います。これまで以上に有効利用ができるよう、各課と連携を取りながら検討していただきたいと思います。

それでは次の質問に移ります。（2）いきいきスポーツ公園は、本年度中に

夜間照明が設置される予定となっており、今定例会にも条例改正案が提案されたところであります。来年の春先からは今以上に、利用を希望される方や団体が増加することが予想されます。現在でも利用を希望している団体や個人からは、人気があり中々利用できないとの声を聞きます。現在、フィールドの利用者があれば陸上トラックが利用できない状況です。また、逆も同じです。各種目での大会や練習試合などが行われているときは相互での利用は不可能かと思いますが、練習の時などは工夫すれば相互利用が可能となります。知人のお子さんが通う大学では、フィールドとトラックの境に組立式のネットを設置し、サッカー部と陸上部が、同じ時間帯で練習を行っていたそうです。設置には多少費用は掛かりますが、多くの方に利用していただくためには何らかの工夫が必要となります。そこで、組立式ネットを設置する考えがあるか伺います。

○議長（長澤健君）

生涯学習課長 依田正紀君。

○生涯学習課長（依田正紀君）

お答えします。いきいきスポーツ公園は、平成31年4月に人工芝のサッカー場とウレタン舗装のトラックが完成し、貸し出しを開始したところであります。現在は、サッカー場とトラックの同時貸し出しについては、利用者の安全を考慮し、行わないこととしております。サッカー場とトラックとの境の、防球ネットの設置につきましては、利用者の安全性を考えると、ネットを相当の高さにしなくてはならないことや、いきいきスポーツ公園が河川区域のため、災害時にネットの撤去ができる、可動式にしなくてはならないことなど、費用も非常に高額となり、現時点での設置は考えておりません。以上です。

○議長（長澤健君）

鮫田洋平君。

○12番議員（鮫田洋平君）

立地面からも安全面からも今のところ考えはないとの答弁でしたが、多くの方に利用され、利用者間でのトラブルがないよう管理面、運営面でさらに研究をし、多くの方に愛される施設にしていきたいと思えます。

それでは次の質問に移ります。（3）殿原スポーツ公園は、昭和56年に竣工され約40年が経過しました。最近、当時のパンフレットを見て時の流れを実感しました。噴水も水が入りとてもきれいなものでした。しかし、現在は利用者の安全を考慮し水が入っていない状況です。最近では、お花見シーズンや各種ソフトボール大会、小中学生の野球大会の際、多くの方が利用しています。参加者は自家用車での利用が多いため駐車場が足りておらず、殿原から砂袋を結ぶ、町道最勝寺砂袋線への路上駐車をしているのが現状です。ご存じのとおり路上駐車をしている町道は道幅も狭く、路上駐車があるとすれ違いもできま

せん。そこで、冒頭にも言いましたが、公園内の噴水はここ数年稼働しておりません。利用者の利便性や安全性を考慮し、噴水エリアを改修して駐車場にする考えはあるか伺います。

○議長（長澤健君）

都市整備課長 山形謙一郎君。

○都市整備課長（山形謙一郎君）

ただいまのご質問にお答えします。殿原スポーツ公園は、昭和56年3月に竣工して以来、町民の健康づくりに、今日まで多くの方に活用されております。当公園噴水周辺につきましては、町民の憩いの場、休息の場として位置付けられており、日頃から安心してご利用いただけるよう、維持管理に努めているところであります。このうち、噴水は昭和56年の開設当初に整備したものであり、現在の新たな公園に整備されている、水に親しむ水遊び場とは形態が違うことから稼働していない状況であります。しかし、噴水周辺は家族連れの憩いの場として利用されています。

こうしたことから、噴水周辺を改修し、駐車場を整備するには多額の費用を要するため、利用状況を調査して参りたいと考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

鮫田洋平君。

○12番議員（鮫田洋平君）

利用状況を調査していただき、前向きに検討していただきたいと思います。

再質問です。現状の駐車場は、区画線が薄くなっておりますので、引き直しの考えはあるか伺います。

○議長（長澤健君）

都市整備課長 山形謙一郎君。

○都市整備課長（山形謙一郎君）

ただいまのご質問にお答えします。先ほど答弁したとおり、利用状況を調査する中で、区画線の引き直しも検討して参りたいと考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

鮫田洋平君。

○12番議員（鮫田洋平君）

前向きに検討していただきたいと思います。

それでは質問事項3、投票率向上にむけた取り組みについての質問に移ります。(1)富士川町での投票率をみますと、町長選挙、町議会選挙では前回、前々回ともに約71.5%と身近な選挙での投票率は比較的高めですが、衆議院や参議院選挙になると60%から65%と投票率がだいぶ下がります。国民の権利の一つに投票行動があり、一人でも多くの方に投票に行ってください政



治に関わっていただきたいと思います。

そこで、投票率向上の取り組みとして、甲州市では山間部を中心とした移動期日前投票所の開設や、当日、移動手段がない方に、事前登録でデマンド型移動支援の送迎を行い、投票率向上の取り組みを行っています。私も含め、何名かの議員さんに、町民の特に高齢の方から「投票所まで遠い」「投票所までの足がない」「期日前投票所も遠い」など、「投票に行きたくても行くすべがない」との声が数件届いております。

また、地域によっては選挙ごとに投票場所が変わり、2回に一度は遠くなるので移動手段がない高齢者は行けないとも聞いております。全国民の権利である投票行動を支援し、現在、町の18投票所の再編を考慮しながら、投票率向上のため、同様の取り組みができないか伺います。

○議長（長澤健君）

選挙管理委員長 杉田和孝君。

○選挙管理委員長（杉田和孝君）

ただいまのご質問にお答えいたします。今回の甲州市の取り組みは、投票所が30箇所から16箇所に減少したことにより、投票率の確保を図る目的で実施されたと伺っております。本町では、これまで、投票区内の有権者の人口が著しく減少したことに伴い、投票所を減らした経過がございますが、現在は、18箇所の投票所を維持しているところでございます。

しかし、本町でも今後の投票所数のあり方につきまして、再考する必要を感じておりますので、甲州市が取り組んだ実績や効果などを参考とさせていただきながら、投票率の向上にむけ検討して参りたいと考えております。以上でございます。

○議長（長澤健君）

鮫田洋平君。

○12番議員（鮫田洋平君）

年明け早々には町長選挙、4月以降は町議会議員選挙、参議院選挙、知事選挙、また再来年春には県議会議員選挙、今後選挙が続きますので、投票率が向上するよう、みんなで知恵を出し合いながら検討していただきたいと思います。それでは質問事項4、県が開校する大学校についての質問に移ります。

（1）令和4年4月に専門学校山梨県立農林大学校森林学科が森林研究所に開校されます。開校に向け、町では町有住宅の条例を変更し、学生が入居できることになりました。何名の生徒が入学し通学してくるのかはまだわかりませんが、森林を多く抱える富士川町では友好的に学校や生徒と関わりを持ち、将来、町の林業従事者となるよう、町として関わっていただきたいと思いますが考えを伺います。

○議長（長澤健君）

産業振興課長 遠藤悦美さん。

○産業振興課長（遠藤悦美さん）

ただいまのご質問にお答えします。明年4月に開校されます山梨県立農林大学の森林学科は、2年間の修業課程を通して、木材生産の現場に必要な資格の取得や高度な技術を身につけ、即戦力となる人材や、林業経営体の中核を担う人材の育成を目指した学科であります。町といたしましては、最勝寺地内にある山梨県森林総合研究所内に、富士川キャンパスが設けられることから、町有林を実習場所として活用することや、卒業生には峡南森林組合や地元の林業事業体で活躍していただける人材として、就職先の斡旋についても要望していきたいと考えております。

○議長（長澤健君）

鮫田洋平君。

○12番議員（鮫田洋平君）

まだ、開校していない学校で、こういった形になるかわかりませんが、前向きに県への要望活動をお願いいたします。

今回の一般質問は、細かなことや予算にもかかわる部分もあり、町長不在で答えが出ないところもありましたが、次期町長に、こういった声も届けていただき町政発展に反映していただければと思います。今後の富士川町が大きく発展していくためのきっかけとなるよう、思いも込めて質問させていただきました。

以上で、私の一般質問を終わります。

○議長（長澤健君）

以上で通告1番 12番 鮫田洋平君の一般質問を終わります。

---